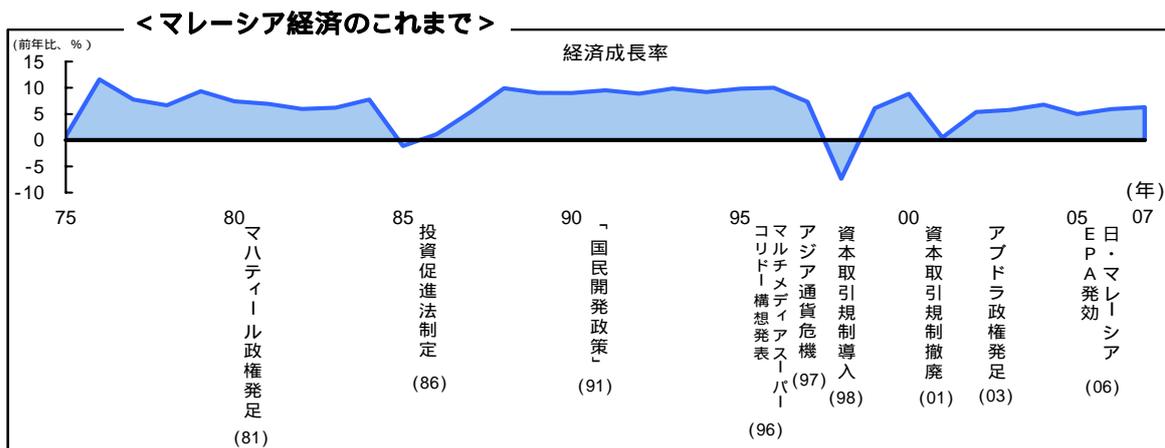


10 マレーシア

Malaysia

<2007年>

人口	2,717万人 (日本の約1/5)	財政会計年度	1月～12月
一人当たりGDP	6,863ドル	為替制度	管理フロート制
産業構造(GDP構成比)	1次産業 10.2% 2次産業 45.2% 3次産業 44.6%	通貨	リンギ 1米ドル=3.44リンギ
		面積	33万km ² (日本の約0.9倍)



マレーシアの主要経済指標

		97～06年	2007年	2008年見通し			2009年見通し			民間機関見通し
				政府	A D B	I M F	政府	A D B	I M F	
実質GDP	前年比%	4.4	6.3	5.7	5.0	5.7	3.5	3.5	3.8	実質GDP
個人消費	同上	5.0	10.8	6.8						2008年
総固定資本形成	同上	0.3	9.6							平均 5.1
鉱工業生産	同上	6.0	1.7							最大 5.6
消費者物価	同上	2.4	2.0			6.0				4.3
失業率	%	3.3	3.2							最小 4.2
経常収支	億米ドル		292.0							2009年
(GDP比)	%		(19.9)							平均 3.3
財政収支	億米ドル		60.1							最大 5.0
(GDP比、年度)	%		(3.2)	(4.8)	(4.8)	(4.6)	(4.8)	(4.8)	(4.2)	最小 2.0
政府債務残高	億米ドル		775.4							(7社)
(GDP比、年度末)	%		(41.6)							

(備考) マレーシア統計局、Bank Negara Malaysia、IMF “International Financial Statistics”、政府見通しは、08年はマレーシア財務省「2008/2009年経済報告」(08年9月)、09年はナジブ副首相兼財務相発言(08年11月4日)より。ADBは“Asia Economic Monitor 2008”(08年12月)、IMFは“Regional Economic Outlook”(08年11月)による。

<2008～09年の経済>

2008年の経済成長率は、1～3月期は前年同期比7.4%、4～6月期は同6.7%となり、原油やパーム油等の一次産品を中心とした輸出や個人消費の好調により、景気は拡大した。しかし、7～9月期は世界経済の減速等を背景に輸出の伸びが大きく鈍化し、同4.7%と減速した。また、消費者物価上昇率は、6月の燃料統制価格引上げ等を受け、7月以降は高水準で推移している。一方、政策金利(翌日物金利)をみると、11月には景気減速懸念の高まりや物価上昇圧力が今後低下するとの見通しを受けて、約5年半ぶりの利下げが行われた。

08年通年の経済成長率は、世界経済の減速や8月以降の国際商品価格下落を背景に、一次産品等の輸出が年後半伸び悩むことなどから、5%半ばと見込まれる(政府見通し5.7%、民間機関7社の平均5.1%(08年12月時点))。また、09年は内外需ともに鈍化するとみられることから、成長率は3%台に減速すると見込まれる(政府見通し3.5%、民間機関7社の平均3.3%(同上))。